

～注腸検査(大腸検査)を受けられる方へ～

◆検査の方法◆

1.検査の前に、大腸の動きを抑え、ぶれのないきれいな写真を撮影するために、注射をします。

2.X線検査台の上に横になって頂き、肛門に細いゴムのチューブを約3センチメートルほど挿入します。このチューブから、バリウムを約300CC注入し、次に空気を注入して腸管を膨らませます。

そして、バリウムを腸管の隅々まできれいに付着させてからX線写真を撮影します。腸管は、長く複雑な走行をしているので、バリウムを奥まで移動させるためと、いろいろな角度で腸管を撮影するために、患者さんに体位変換をしていただきます。検査の所要時間は約15分～20分程度です。

◆前処置(検査のために必要な準備事項)◆

1. 検査前日、検査当日の前処置があります。
2. 詳細は予約表に明記されています。
3. 前処置通りに準備ができなかった方や、薬を服用しても水のような便にならなかった方は、検査が受けられないことがありますので、当日必ず申し出てください。

◆注意事項◆

1. 心臓病や緑内障、前立腺肥大の疑いのある、もしくはそれらの病気にかかっている患者さんは、事前に医師に相談してください。
2. 妊娠の可能性のある方は検査できませんので、申し出てください。